

| 和名 | 分類 | 特徴ほか | 会える場所 | | | |
|------------|---------|------------|-------|-------|------|------|
| | | | ハイム | 多摩川土手 | 生田緑地 | その他 |
| ギンイチモンジセセリ | セセリチョウ科 | 文字通り「銀一文字」 | x | ○ | x | 減少傾向 |



多摩川 4月下旬



多摩川 4月下旬 羽の表は地味な褐色



多摩川 5月上旬 ハルジオンで吸蜜

| 成虫発生時期（月） | | | | | | | | | | | |
|---------------|----|--------|---|------|---|---|---|---|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ 食草 | 食樹 | 発生回数/年 | | 越冬形態 | | | | | | | |
| ススキ、ヨシほか（イネ科） | | 2～3 | | 幼虫 | | | | | | | |

多摩川の河川敷では4月下旬あたりから食草のススキのあるところを中心に飛びハルジオン、ヒメジョオン、タンポポなどで吸蜜します。羽の表は黒っぽい褐色で特徴はありませんが、裏には銀の筋が一本はいるので見分け方が難しいセセリチョウの中で見間違ふことはありません。飛び方が弱々しくチラチラと飛んでいる割にはなかなかとまってくれません。

蝶の採集をしていた高校生の頃に住んでいた兵庫県では珍しい蝶で、電車を乗り継いで産地に行ったのに姿すら見ずで落胆した記憶があります。多摩川沿いの各地に発生しているようですが全国的には減少してきていて環境省の「準絶滅危惧種」（現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては、より危険度の高い絶滅危惧に移行する可能性のある種）に指定されています。

台風で多摩川が増水したときなど心配になりますが、短期的に打撃を受けてもしぶとく復活しているようです。



多摩川 4月下旬